

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表） 令和4年度

公表: 令和5年1月27日

事業所名 木馬の会(小金井おもちゃライブラリー学童クラブ)

保護者等数(児童数) 27 回収数 21 割合 78%

		チェック項目	評価			保護者の方からのご意見	取り組み状況・保護者の方へ(令和4年度)
			はい	どちらとも	いいえ		
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	3	0	・人数が多いときは少し狭いかなと思います。通常は問題ないです。 ・活動のスペースは工夫されており子供の気分や体調に合わせて適切な環境が整えられています。	1Fの活動スペースで法令基準を満たしたうえで、2Fにも子どもが利用できるスペースもあります。利用者がより快適に過ごせる環境を整えています。また、室内でも密になる環境にならないよう遊び場所をエリア分けする等の工夫をし、活動しています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	21	0	0		法令で必要とされる人員基準に加え、今年度は保育士と言語聴覚士・作業療法士の専門職を毎日配置。管理者を含め、7名で支援しています。支援員は専門職のほか、元特別支援学校教諭・元小学校教諭・保育士などの有資格者も多く揃え支援しています。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	18	3	0	・事業所内をじっくり見る機会がないので「どちらともいえない」にしました。	階段に手すりの設置、1Fトイレのバリアフリー化はされています。転倒防止に関してはスタッフが付くなどの配慮をしています。階段に関しては、安全設計の滑り止めを付け、より安全に昇降できるようになりました。今年度、小金井市の合理的な配慮の提供に要する助成制度を活用し、トイレに手すりを付ける事ができました。 面談で来所した際に、是非施設内を見学してしてってください。

適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	21	0	0	年2回の個人面談の実施。その際に、保護者のニーズはもちろん、利用者本人より聞き取りも実施しています。また、お困りの事があった際には電話相談や面談も随時行っています。
	*5	<u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	19	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期の休みには課外活動をたくさん取り入れてくださり経験できることが多い。</li> <li>・コロナ禍で大変な中でも外へお出かけをしてくださり楽しい（夏休み・冬休み）とても感謝しています。</li> </ul>
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	10	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた利用回数なので、それほど必要性は感じていません。</li> <li>・長期休み時の利用ですが今年度はまだ利用がないので「どちらともいえなし」にしました。</li> </ul>

保護者への説明等

7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	0	0		利用開始時に、重要事項説明書を基に説明しています。利用料に関しては、毎年変更があります。随時書面にて配布してお知らせしますで、ご確認ください。
8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	21	0	0	・共通理解ばっちりです。 ・毎回エピソードを教えていただき子供の様子が伺えてありがたい。	日頃の活動の様子に関してはサービス提供記録にて連絡。変わった様子が見られた時は送迎時・メール・電話・手紙・連絡帳にて、随時連絡し連携を図っています。
9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	0	0	・とても丁寧に支援して頂いてます。 ・将来に向けて必要なことを助言して頂き助かっている。	年2回個人面談の実施。相談が必要な場合は随時対応に努めています。いつでもご相談ください。
*10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	8	1	保護者会はなかったような…。	ここ数年はコロナ禍で実施できませんでしたが、通常時は保護者会・バザー等、保護者間で顔合わせをする機会を設けています。各御家庭の事情により、多くの方々が集まる事が難しいのが現状のようですが、毎年少しずつ参加人数も増えてきていました。保護者の方同士の連携も大切な事なので、今後も、充実できるよう努力していきたくと思います。
11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	21	0	0		重要事項説明書にて外部の相談窓口を記載、玄関扉にてポスター掲示し、苦情解決担当者及び責任者を配置し対応しています。気になる事がありましたら、いつでもお問い合わせ下さい。
12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21	0	0		保護者にはサービス提供記録やメール・電話・手紙・連絡帳にてお知らせをしています。子どもたちとは、スケジュールの掲示、意思カードも使用しながら相談の時間をもち、本人の気持ちに寄り添い支援に取り組んでいます。
13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	21	0	0	・季節のイベントを感じられる活動、課外活動の様子を通信で知ることができ毎回あたたかい気持ちになれる。 ・子どもからは伝わってこない出来事やイベントも、いつもとても丁寧に細かく書いてくださっていて、お頼りはとてもあたたかみを感じます。	学童クラブ通信（月1回）、いきいきだより（年1回）の発行。HPにブログも開設していますので是非ご覧ください。 また、今年度は第三者評価を受審しました。詳しい評価結果は東京の福祉のポータルサイト【とうきょう福祉ナビゲーション（福ナビ）“第三者評価”】のHPより、小金井おもちゃライブラリー学童クラブを検索し、ご覧ください。
14	個人情報に十分注意しているか	21	0	0		鍵付きの戸棚にて書類の管理を徹底しています。また、介護等体験やボランティア等外部の方が入る際には守秘義務に関する誓約書を交わした上で活動に入って頂いております。

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	20	1	0	・感染による閉所が無かったので、徹底した対策のお陰だと思う。	災害時のSOSシートの活用や様々なマニュアルを策定しています。詳細は配布しております“おもちゃライブラリーの【しおり】”をご確認ください。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20	1	0		年5回避難訓練（火災・地震・不審者・ミサイル・一時避難所までの避難経路確認など）各曜日1回ずつ実施しています。今年度は防災館へ体験にも行き、実際に子どもたちも体験や訓練に取り組む事もできました。様子を学童クラブ通信やサービス提供記録にてお知らせしていますので、ご確認ください。
満足度	*17	子どもは通所を楽しみにしているか	20	0	0	・◎とても工夫して頂いており楽しみに通えています。不慣れな時も個別フォローして頂き、おかげさまで順応できました。 ・表情や言葉には出さないけど、受け入れてくれるスタッフがいる事はとても嬉しく思っています。 ・好きなものを見つけたりお友達とカードゲームをしたり自分の作画を飾って貰ったり居心地よく通わせてもらっている。	今後も学校・家庭とも違う“子ども達の生活の場”として、子どもたちが楽しみに登所できるよう努力していきます。
	*18	事業所の支援に満足しているか	20	0	0	・子どもの特性への理解対応の的確さ、大変信頼しております。 ・いつもの的確なアドバイスをしてくれて助かっています。 ・いつも気にかけて貰いありがとうございます。 ・めりはりのある活動に大変感謝している。 ・親子でとてもありがたいです。	長期休暇時には、必要に応じ時間延長する等、地域で暮らし易いような支援に取り組んでいます。 現在もコロナ禍が続き、ライブラリーとしても最善を尽くしてきているつもりですが、従来通りの活動には戻せない所もあり、ご家庭の皆様の御理解、御協力のお陰で、乗り切る事ができていると感謝しております。まだ厳しい状況は続きますが、引き続き、子ども達の健全な成長を支援し、今後も保護者のニーズと共に、寄り添っていけるよう努めていきたいと思っています。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

設問\*5,\*10,\*17,\*18 未回答でございます。

事業所における自己評価結果（公表） 令和4年度 集計12名

公表：令和5年1月27日

事業所名 木馬の会（小金井おもちゃライブラリー学童クラブ）

		チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	無効	取り組み状況(工夫している点/改善内容・改善目標)
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	1	0	1	1Fの活動スペースで法令基準を満たしたうえで、2Fにも子どもが利用できるスペースもあります。個室やパーティション、マット等を活用し個々に合せ適した環境設定を工夫し、利用者がより快適に過ごせるように取り組んでいます。また、室内でも密になる環境にならないよう遊び場所をエリア分けする等の工夫をし、活動しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	2	2	1	法令で必要とされる人員基準に加え、今年度は保育士と言語聴覚士・作業療法士の専門職を毎日配置。管理者を含め、7名で支援しています。支援員は専門職のほか、元特別支援学校教諭・元小学校教諭・保育士などの有資格者も多く揃え支援しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	7	1	0	階段に手すりの設置、1Fトイレのバリアフリー化はされています。転倒防止に関してはスタッフが付くなどの配慮をしています。階段に関しては、安全設計の滑り止めを付け、より安全に昇降できるようになりました。今年度、小金井市の合理的な配慮の提供に要する助成制度を活用し、トイレに手すりを付ける事ができました。

業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	10	2	0	0	曜日により担当支援員が異なるので、年3回全職員で集まり職員会議を実施。職員会議にてケースを検討し全職員で支援の確認を行い、積極的に参画できるよう努めています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか	12	0	0	0	毎年ガイドラインに基づきアンケート調査を実施しています。また、今年度は三回目の第三者評価を受審しました。詳しい評価結果は東京の福祉のポータルサイト【とうきょう福祉ナビゲーション（福ナビ）“第三者評価”】のHPより、小金井おもちゃライブラリー学童クラブを検索し、ご覧ください。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10	1	0	1	毎年アンケート調査を実施。アンケート結果を職員会議にて全職員で確認をし、改善に努めています。結果もHPにて公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	12	0	0	0	今年度、三回目の第三者評価を受審しました。詳しい評価結果は東京の福祉のポータルサイト【とうきょう福祉ナビゲーション（福ナビ）“第三者評価”】のHPより、小金井おもちゃライブラリー学童クラブを検索し、ご覧ください。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	12	0	0	0	昨年に続き、法人内研修にて"虐待及び権利擁護"に関する研修を全職員が受講し理解を深めました。外部の研修に関しては、コロナの影響もありますが、オンライン研修を中心に受講し、支援の質の向上に努めています。また、通常時は各学校の行事や学校公開にも足を運び、学校での様子を把握し、支援に繋げています。

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	11	1	0	0	年2回の面談の実施、個別支援計画に子どもの意向欄を記載しニーズに沿って計画案作成に役立てています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10	1	1	0	医療機関等にて受けた検査結果を保護者の方の承諾を得て提出をお願いしており、支援に活かすようにしています。内部の取り組みに関してはまだ課題は残っていると感じられるので、今後も標準化されたアセスメントツールを活用し、個人の適応状況を図っていけるよう改善していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	2	0	0	職員間での打ち合わせや定期的な会議時に活動プログラムを検討し、常勤支援員だけでなく、非常勤支援員へも役割を振り、各々の支援員の個性を活かし活動に取り組んでいます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11	1	0	0	製作・散歩・音楽活動など、活動内容を週毎にローテーションにて取り組んでいます。長期休暇時には行事も取り入れて活動しています。ここ数年はコロナ禍で調理活動は長期休暇時のみ実施となっておりますが、散歩やお出かけ企画の充実、買い物学習などにも積極的に取り組んでいます。今後も職員間で意見を出し合い、工夫していきたいと思えます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	12	0	0	0	ここ数年はコロナ禍で実施できていませんが、長期休暇時には同法人内の作業所と合同で花見・BBQなどの行事をしています。また、カラオケ忘年会や近隣の図書館や工場見学、動物園などの施設へのお出かけ等、通常開所時にはできないイベントも充実させています。

適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成しているか	12	0	0	0	個別な配慮が必要な子がいる場合は、職員配置も含めて対応するように努力しています。特にここ数年はコロナ禍で密を避ける必要性があり、一箇所に集まりすぎないよう部屋（個室）の活用、グループ毎の活動の場面を意図的に取り入れて活動しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12	0	0	0	毎日、活動開始前には職員で集まり、ミーティングの実施を徹底しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	5	0	1	活動終了後送迎業務がある為、全職員が集まり振り返りの時間を持つ事は難しいですが、非常勤職員からの報告や確認事項がある際は、管理者が聞き取りをしています。毎日その日の振り返りを行い、翌日以降のミーティングへ反映できるよう取り組んでいます。また、職員間で報告シートや業務日誌に記載し、口頭での状況報告だけでなく、翌日非常勤職員も内容を確認できる環境を整えています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12	0	0	0	サービス提供記録を全職員が記入しているので、支援するにあたり責任と意欲・意識向上に繋がっています。また、個別支援計画の評価結果は毎月、業務日誌も毎日記録し、会議や面談に活用しています。

関係機関や保護者との連携

18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	11	1	0	0	年に2回面談時に計画の見直し、ニーズの確認をしています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	10	2	0	0	トイレや身辺自立等の生活習慣の支援、遊びや音楽療法・調理・製作・買い物学習などの活動を通じ様々な経験を重ねられるよう支援しています。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	12	0	0	0	担当相談支援員と情報交換をしています。また、必要に応じて支援者連携会議や学校へ出向き支援会議に出席しています。
21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	12	0	0	0	送迎時はもちろん、各学校の行事にも出向き直接話す機会をつくり連絡調整の取りやすい環境を整えています。必要に応じて、支援者会議に出席や各々のニーズに合わせて学校へ訪問、ご家庭と学校との関係調整の支援も取り組んできました。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	11	1	0	0	支援者連携会議等に参加し、主治医含め、連携を図っています。てんかん発作や服薬調整等、必要に応じて主治医と書面にてお子さんの様子を共有しています。現在は対象者が少ないですが、今後必要な場合は連携を取っていきたいと思っています。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	3	2	0	年に1～2回、市内の各学童への挨拶回りをし、連携を深めています。ここ数年で当事業所（放課後等デイサービス）の事を学童の先生方にも知って頂けるようになり、学童の先生よりニーズのある御家庭へ当事業所を紹介して頂ける事も増えてきました。今後も連携を深め、支援に繋げていきたいと思っています。

関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	12	0	0	0	保護者の方のニーズがあった場合には、就労先の事業所と連携を図る中で、先方へ出向いたり、来所して頂き、卒業前に情報提供や該当児との交流の場を設定しています。また、卒業後も就労先から支援に関して相談を受ける事もあり、卒業後も地域福祉サービス事業所間で連携を深めています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	12	0	0	0	コロナの影響もありオンラインでの参加となる事が多いですが、児童発達支援センター主催の研修は受講し、支援の質向上に努めています。また、法人内研修は障害者センターをお借りし実施、助言を頂きながら開催をしています。児童発達支援センターや障害者センターとも、ここ数年深く連携を取れる関係性の構築もできるようになり、利用者の移行時の引継ぎ、双方の事業所見学なども実施し、相談や連携を深めています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	5	4	0	ライブラリーは一般学童卒業後のお子さん（小学5年生～）を対象としている為、学童クラブや児童館に来ているお子さんとの年齢差があり、一緒に活動する難しさがあります。現在は、近隣の学童さんと行事のお知らせは交換している状況です。また、今年度は介護等体験の大学生の受入や留学生ボランティアの受入をし、先輩の年齢に当たる学生さんとの関わりの時間を持つ事ができました。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	12	0	0	0	社会福祉協議会・自立生活支援センター・子ども家庭支援センターとの連携や福祉NPO連絡会の連絡会に参加し連携を深めています。また自立支援協議会の役員の方、地域の民生委員さんとも連携がとれる環境が整ってきたので、今後の連携の仕方を考えています。一作年度より、小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会主催の小金井子どもの居場所サイト「えにえに」にも当事業所が掲載されました。地域の皆様にも知って頂けるよう今後も連携を深めていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12	0	0	0	日常の様子や報告は常に連絡を取り合い、保護者との理解を深め子どもたちの成長につなげています。今後も重要な支援と捉え、連絡を密に取っていききたいと思います。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	3	2	0	支援員が研修に参加し、ペアレントトレーニングについて理解を深めました。今後も子どもの状況を保護者と確認しながら助言をしていききたいと思います。	

## 保護者への説明責任等

30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12	0	0	0	利用開始時に、重要事項説明書を基に説明しています。変更があった際は随時、重要事項説明書にて変更点を中心に書面にてお知らせをしています。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12	0	0	0	面談時だけでなく、随時相談を受け、必要に応じて個別な対応・支援に努めています。今後も、利用者本人の気持ちを大切に本人・ご家庭の支援をしていきます。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	7	1	0	ここ数年はコロナの影響で中止となっておりますが、通常時は保護者会・バザー等、保護者間で顔合わせをする機会を設けています。各御家庭の事情により、多くの方々が集まる事が難しいのが現状のようですが、毎年少しずつ参加人数も増えてきていました。保護者の方同士の連携も大切な事なので、今後も、充実できるよう努力していきたいと思います。
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	0	0	0	重要事項説明書にて外部の相談窓口も記載、玄関扉にてポスター掲示し、苦情解決担当者及び責任者を配置し対応しています。リスクマネジメント委員会も設置し、より組織的に対応しています。
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	12	0	0	0	学童クラブ通信（月1回）、いきいきだより（年1回）の発行。HPにブログも開設していますので、是非ご覧ください。
35	個人情報に十分注意しているか	12	0	0	0	鍵付きの戸棚にて書類の管理を徹底しています。
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12	0	0	0	保護者にはサービス提供記録やメール・電話・手紙・連絡帳にてお知らせをしています。子どもたちとは、スケジュールの掲示、意思カードも使用しながら相談の時間を持ち、本人の気持ちに寄り添い支援に取り組んでいます。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	9	2	1	0	ここ数年はコロナ禍で中止となってしまいましたが、通常時は、法人として年2回の当施設にてお祭りの実施の他、他事業と共に市民祭りに参加しています。また、地域の方に無料でおもちゃの貸し出しも行っています。町内会にも参加し、施設の事を知っていただける機会も増えました。今後も地域の方々と連携を深めていきたいと思っています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	12	0	0	0	災害時のSOSシートの活用や様々なマニュアルの策定を職員にはわかり易い所に掲示、閲覧できるよう設置しています。おもちゃライブラリーの【しおり】を配布し、より分かりやすく周知しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	12	0	0	0	年5回避難訓練（火災・地震・不審者・ミサイル・一時避難所までの避難経路確認など）各曜日1回ずつ実施しています。今年度は防災館へ体験にも行き、実際に子どもたちも職員も体験や訓練に取り組む事ができました。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	12	0	0	0	今年度も法人内研修にて“虐待及び権利擁護に関して”の研修を全職員が受講し理解を深めました。支援に関してはその都度、職員間で話し合いの機会を持ち、適切な支援の仕方を確認しています。虐待防止委員会も設置しています。今後も外部研修も含め積極的に参加していきたいと思えます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	12	0	0	0	利用契約書にて、利用児童又は他の利用児童の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体抑制を行わない事を明記し、説明をしています。（必要に応じて、個別支援計画にも記載）また、その都度、保護者への連絡は密に取り、安全に過ごすことができるよう環境整備しています。また、法人内の虐待防止委員会にて規程や指針も整備し、対応に関しても職員間で理解を深めています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	2	0	0	契約時に必ずアレルギーの有無の確認を書面にて行っています。該当児がいる場合は全職員で確認、アレルギーに関して掲示をし間違いのないように対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12	0	0	0	事例があった際はヒヤリハット報告書を作成し、全職員が閲覧し、内容を把握して、対応をしています。年度末の職員会議にて一年間のヒヤリハットの件数や内容を分析し、再発防止にも努めています。また、リスクマネジメント委員会も運営する中で、法人としても組織的に対応しています。